

年末は特にご注意を

年末特別警戒出発式

年末に向けて、自主防犯パトロール隊の活動強化と市民の交通安全、防犯意識の高揚を図ろうと12月14日、年末特別警戒出発式がサンアールで行われました。小野田賢治市長、塚本克彦議長をはじめ、豊田警察署長や自主防犯パトロール隊、各行政区の区長などおよそ300人が参加し、「犯罪に遭わない」、「犯罪を起こさせない」、「犯罪を見逃さない」と宣言。その後、パトロールカーが各行政区での防犯パトロールに向かいました。



1枚の布に思いを込めて

世界一大きな絵プロジェクト(三吉小学校)



特定非営利活動法人アース・アイデンティティ・プロジェクトの河原裕子さんが取り組んでいる、世界中の子どもたちが描いた絵をつなぎ合わせて1枚の絵を作る「世界一大きな絵」。市の代表として三吉小学校の5年生およそ80人が12月11日、5メートル四方の布に、「三吉小といえは」や「みよし市といえは」をテーマに思い出などの絵を描きました。児童たちはお互いに完成した絵を見せ合い、大満足の様子でした。

交流の場として

地域サロン

高齢者を自宅で介護している人たちに日ごろの介護の疲れを癒してもらおうと12月13日、福祉センターで地域サロンが開催され、8人が参加しました。特定非営利活動法人あいちNPO市民ネットワークセンターの長山恭子さんを講師に迎え、ランチオンマット作りや高齢者でも食べやすいおせち料理について学びました。参加した女性の一人は「皆さんとお話ししながらランチオンマットを作るのが楽しかったです」と話していました。



素晴らしい功績をたたえる

社会貢献者表彰受賞報告会

11月27日に公益社団法人社会貢献支援財団から社会貢献者表彰を受賞された彦山^{ひこやま}ひろみさんの報告会が12月14日、サンアートで行われました。アルミ缶の回収を地域に広め、分別ごみステーションを自主運営するなど、さまざまなボランティア活動を行っている彦山さん。彦山さんは今回の受賞はこれまで一緒に活動してくださった皆さんのおかげです。これからも頑張りますので、よろしくお願ひしますとあいさつしました。



良い1年を願って

門松作り

新年を祝い、その年の無事を祈って玄関や門などに飾る門松。12月11日、高齢者生きがいセンター太陽の家でシルバー人材センター会員による門松作りが行われました。今年も会員の皆さんが持ち寄った松や竹、ナンテン、ハボタン、クマザサなど縁起の良い物を使用して、土台から丁寧に製作。会員たちは見栄え良く仕上げようと「竹はもう少し右だよ」などとお互いに声を掛け合いながら、和気あいあいと作業を進めていました。



元気いっぱいのステージ

お遊戯会(東山幼稚園)

東山幼稚園のお遊戯会が12月10日、サンアートで行われ、3歳から年長までの園児たちが参加しました。園児たちは「不思議の国のアリス」や「ヘンゼルとグレーテル」などの劇でかわいらしい衣装を身にまとい、役になりきったり、「美女と野獣」などの音楽に合わせて踊ったりしました。会場に訪れた園児の祖母の一人は「一生懸命演技している姿がかわいらしく、とても癒されました」と笑顔で話していました。

